

定型受託開始のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記の検査を定型項目として受託を開始することになりました。

取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

定型受託項目

- 尿素呼気試験（UBT） 項目コード：5723
（ユービット）

受託開始日

平成 23 年 12 月 1 日（木）受付分より定型受託開始

※ 次頁以降の受託要項等をご確認の上、ご依頼ください。

保健科学グループ



株式会社 保健科学研究所

本社／ 横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661
仙台支社／ 仙台市宮城野区扇町 1-3-5 TEL 022-236-9345
中部支社／ 名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201
大阪支社／ 豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622
福岡支社／ 福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

いがく小田原衛検
新潟臨床検査センター カスタムメディカル研究所
保健科学東日本 ケーアイエー細胞病理研究所
日本ノーバメディカル研究所 日本厚生団衛生科学研究所
組織科学研究所 相模医研
遠州予防医学研究所 湘南医化学検査センター
東部メディカルセンター

項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値	所要日数	実施料判断	備考
5723	尿素呼気試験 (UBT) (ユービット)	呼気前・後 (各1個)	新容器コード: UB 室温	IR法 (赤外分光分析)	2.5 未満 △‰	3 ~ 5	70 微生	服用前および服用20分後の呼気をそれぞれ採取し、ペアで提出してください。※1

委託先: カスタムメディカル(略号: *C)

※1 使用する専用容器は、市販品(大塚製薬株式会社)となります。予め貴院にてご購入願います。

ユービット錠の尿素呼気試験実施手順

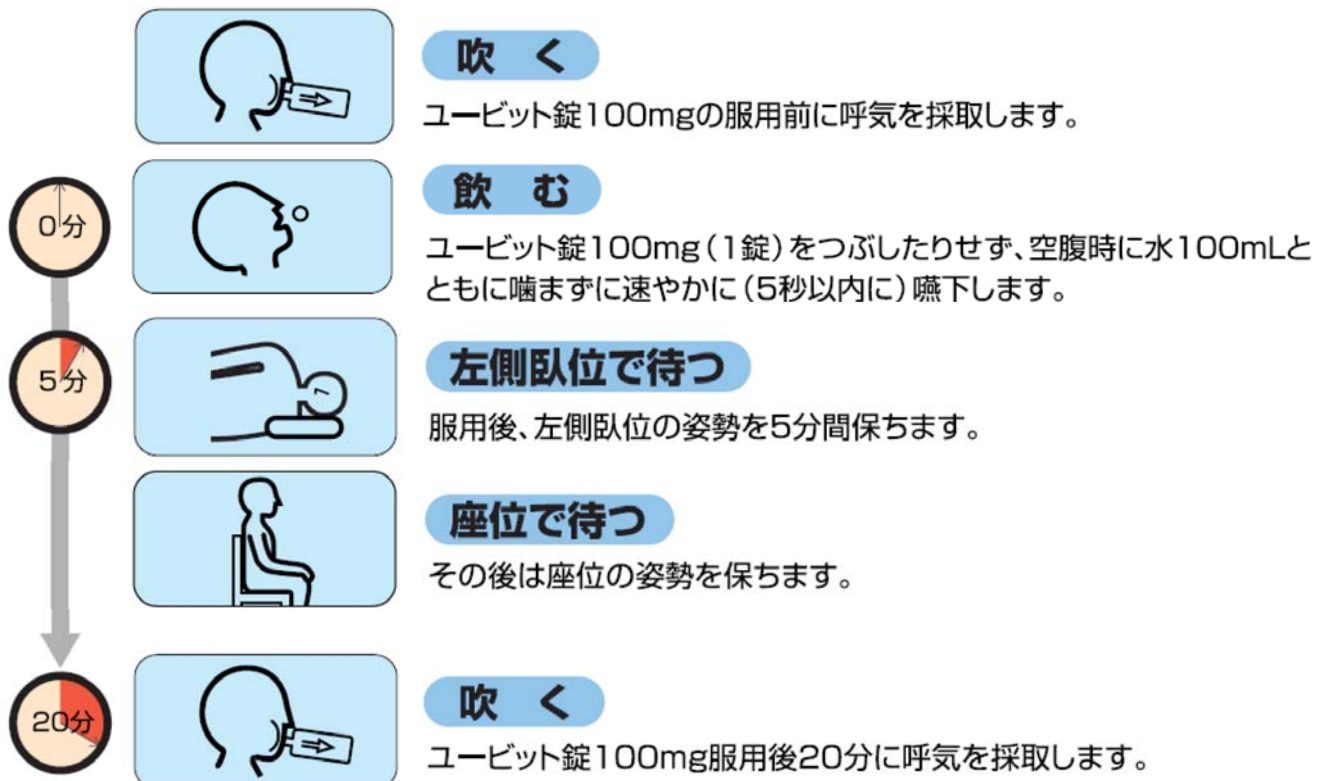
検査当日の注意事項 空腹時に実施する検査ですので、午前中の検査の場合は朝食をとらずにお越し下さい。
午後には検査の場合は、昼食をとらずにお越し下さい。

※ 呼気採取方法のポイント

- 1) 呼気採取バックを口にあて、(鼻から)息を吸って、5~10秒程度息を止めてください。
- 2) その後呼気採取バックにゆっくりと息を入れてください。
- 3) 息止めが苦しい場合は2~3回に分けて入れても大丈夫です。
- 4) 呼気採取バックには肺の中の息を入れるようにしてください。

- ※ 呼気を採取する前に、呼気バックに“施設名”、“患者名”など所定の内容を記入し、“服用前”又は“服用後”のいずれかにチェックを入れてください。
- ※ 呼気の採取後に記入するとバックを傷つける恐れがあります。また、記入にはペン先の鋭利でないものをご利用ください。
- ※ 呼気を採取したバックには必ずしっかりとキャップをしてください。

標準的な¹³C-尿素呼気試験法



▼ 専用容器について

UB 呼気採取バッグ(ユービット)	
	内容
	採取量 呼気 200~250mL
	貯蔵方法 室温
	有効期限
	検査項目 尿素呼気試験(UBT)(ユービット)
備考 左頁の実施手順を参照下さい。	

▼ 尿素呼気試験(ユービット)の特徴

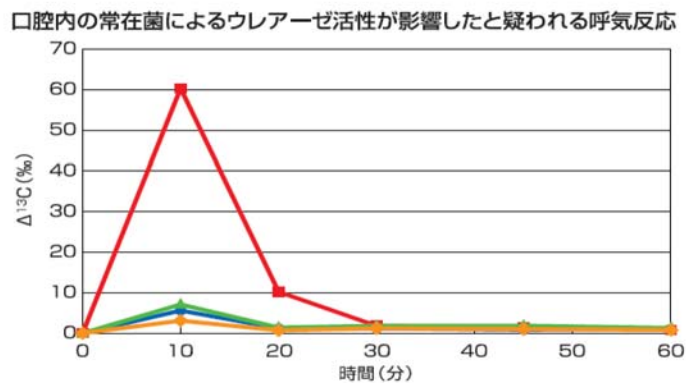
1.ユービット錠の特徴



- 本剤は水に溶解せずに、錠剤のまま服用します。
- 服用後の口腔内洗浄が不要です。
- *H. pylori* 感染診断能は、感度97.7%、特異度98.4%、正診率98.0%です。
- 本剤あるいはユービット顆粒分包100mgを投与した際の副作用の発現率は0.7%です(8例/1,144例、承認時)。

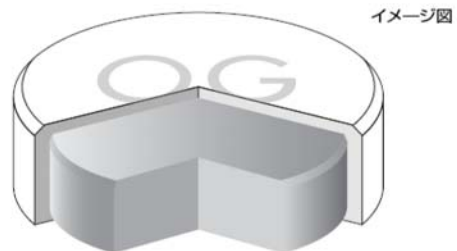
2.尿素呼気試験に及ぼす口腔内常在菌の影響*

口腔内にはウレアーゼ活性を持つ細菌(*Staphylococcus*等)が存在¹⁾しています。これまで尿素呼気試験に用いられてきた尿素(¹³C)(ユービット顆粒等)では、これらの細菌の影響による偽陽性を防ぐため、服用直後に必ず口腔内の洗浄が必要でした。しかし、洗浄を行っても影響の残る症例(右図参照)がありました。



3.ユービット錠はフィルムコート錠です。

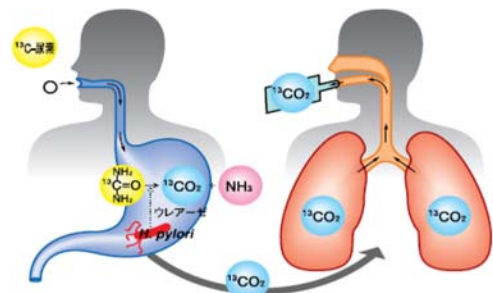
錠剤表面をフィルムコートすることで口腔内でのウレアーゼ活性の影響を排除し、かつ胃内において速やかに溶解して反応するように製剤設計されています。ユービット錠を速やかに(5秒以内で)服用することで口腔内での崩壊は起こらず、なおかつpHの影響を受けずに1分以内で崩壊しました。



¹³C-尿素呼気試験の原理

¹³C-尿素呼気試験²⁾(¹³C-UBT)※は、¹³C-尿素を服用して、呼気中に排出される¹³CO₂を検出するものです。胃内に*H. pylori*が存在すると、ウレアーゼ活性によって¹³C-尿素は¹³CO₂とNH₃に分解され、¹³CO₂は血中を経て呼気中に排出されます。

※¹³C-UBT:¹³C-Urea Breath Test



〈引用文献〉 1) 編集/吉川昌之ほか: 医科細菌学, P250, 南江堂, 2001 2) Graham, D. Y., et al.: Lancet, i, 1174-1177, 1987

▼ ヘリコバクター・ピロリ感染の診断及び治療に関する取扱いについて

保険診療におけるピロリ菌感染診断から除菌後判定までの流れ

監修：杏林大学医学部第三内科教授 高橋信一

